

Q001

TRAVEL-1661

海外旅行保険の目的 / 4択 / 基礎

海外旅行保険の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅券の残存期間を延長するためである。
2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
3. 入国審査を免除するためである。
4. 航空券を必ず無料にするためである。

答え・解説

正答：2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

解説：海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q002

TRAVEL-1662

治療・救援費用 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、治療・救援費用で正しい理解はどれか。

1. 旅券発給手数料である。
2. 航空会社の運賃表である。
3. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。
4. ホテルの朝食代だけを補償する。

答え・解説

正答：3. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q003

TRAVEL-1663

携行品損害 / 4択 / 標準

携行品損害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
2. 旅行者の気分変化を補償する。
3. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。
4. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

答え・解説

正答：2. 旅行者の気分変化を補償する。

解説：誤りは「旅行者の気分変化を補償する。」。携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q004

TRAVEL-1664

賠償責任 / 4択 / 応用

次の事例で、賠償責任の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 旅券を再発給する補償である。
2. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
3. 航空機の遅延をなくす補償である。
4. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。

答え・解説

正答：2. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q005

TRAVEL-1665

航空機遅延 / 4択 / 基礎

航空機遅延に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 遅延を物理的に防止する保険である。
2. 入国審査を省略する保険である。
3. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
4. ホテル予約を必ず無料にする保険である。

答え・解説

正答：3. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

解説：航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q006

TRAVEL-1666

免責事項 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、免責事項で正しい理解はどれか。

1. 免責事項は旅行者が自由に消せる。
2. 保険には免責事項が一切ない。
3. すべての損害が無条件で全額補償される。
4. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

答え・解説

正答：4. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q007

TRAVEL-1667

事故時の連絡 / 4択 / 標準

事故時の連絡に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
2. 事故時は何も記録しない。
3. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
4. 保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。

答え・解説

正答：2. 事故時は何も記録しない。

解説：誤りは「事故時は何も記録しない。」。事故時の連絡では「保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。」が基本です。

要点：事故時の連絡

Q008

TRAVEL-1668

盗難時の証明 / 4択 / 応用

次の事例で、盗難時の証明の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 友人の口頭証言だけで常に十分である。
2. 盗難時は航空会社に旅券を発給してもらう。
3. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。
4. 証明書類は一切不要である。

答え・解説

正答：3. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

解説：盗難時の証明では「盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。」が基本です。

要点：盗難時の証明

Q009

TRAVEL-1669

旅券紛失 / 4択 / 基礎

旅券紛失に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅行会社が旅券を即時再発行できる。
2. ホテルのフロントだけで新旅券を発給できる。
3. 旅券紛失後も国際線に無条件で搭乗できる。
4. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

解説：旅券紛失では「現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。」が基本です。

要点：旅券紛失

Q010

TRAVEL-1670

病気・けが対応 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、病気・けが対応で正しい理解はどれか。

1. 保険会社には知らせない。
2. 診断書や領収書は捨てる。
3. 受診せず旅行を続けることだけが正しい。
4. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

答え・解説

正答：4. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

解説：病気・けが対応では「医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。」が基本です。

要点：病気・けが対応

Q011

TRAVEL-1671

自然災害時対応 / 4択 / 標準

自然災害時対応に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。
2. 根拠のないSNS情報だけで行動する。
3. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
4. 安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。

答え・解説

正答：2. 根拠のないSNS情報だけで行動する。

解説：誤りは「根拠のないSNS情報だけで行動する。」。自然災害時対応では「安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。」が基本です。

要点：自然災害時対応

Q012

TRAVEL-1672

トラブル記録 / 4択 / 応用

次の事例で、トラブル記録の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 被害額は感覚で後から増やす。
2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。
3. 相手方情報は確認不要である。
4. 記録は一切残さない方がよい。

答え・解説

正答：2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。

解説：トラブル記録では「日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。」が基本です。

要点：トラブル記録

Q013

TRAVEL-1673

海外旅行保険の目的 / 4択 / 基礎

海外旅行保険の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
2. 航空券を必ず無料にするためである。
3. 入国審査を免除するためである。
4. 旅券の残存期間を延長するためである。

答え・解説

正答：1. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

解説：海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q014

TRAVEL-1674

治療・救援費用 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、治療・救援費用で正しい理解はどれか。

1. ホテルの朝食代だけを補償する。
2. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。
3. 航空会社の運賃表である。
4. 旅券発給手数料である。

答え・解説

正答：2. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。

解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q015

TRAVEL-1675

携行品損害 / 4択 / 標準

携行品損害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
2. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。
3. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
4. 旅行者の気分変化を補償する。

答え・解説

正答：4. 旅行者の気分変化を補償する。

解説：誤りは「旅行者の気分変化を補償する。」。携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q016

TRAVEL-1676

賠償責任 / 4択 / 応用

次の事例で、賠償責任の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。
2. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
3. 航空機の遅延をなくす補償である。
4. 旅券を再発給する補償である。

答え・解説

正答：2. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q017

TRAVEL-1677

航空機遅延 / 4択 / 基礎

航空機遅延に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ホテル予約を必ず無料にする保険である。
2. 遅延を物理的に防止する保険である。
3. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
4. 入国審査を省略する保険である。

答え・解説

正答：3. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

解説：航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q018

TRAVEL-1678

免責事項 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、免責事項で正しい理解はどれか。

1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
2. 保険には免責事項が一切ない。
3. すべての損害が無条件で全額補償される。
4. 免責事項は旅行者が自由に消せる。

答え・解説

正答：1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q019

TRAVEL-1679

事故時の連絡 / 4択 / 標準

事故時の連絡に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。
2. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
3. 事故時は何も記録しない。
4. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

答え・解説

正答：3. 事故時は何も記録しない。

解説：誤りは「事故時は何も記録しない。」。事故時の連絡では「保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。」が基本です。

要点：事故時の連絡

Q020

TRAVEL-1680

盗難時の証明 / 4択 / 応用

次の事例で、盗難時の証明の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。
2. 盗難時は航空会社に旅券を発給してもらう。
3. 証明書類は一切不要である。
4. 友人の口頭証言だけで常に十分である。

答え・解説

正答：1. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

解説：盗難時の証明では「盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。」が基本です。

要点：盗難時の証明

Q021

TRAVEL-1681

旅券紛失 / 4択 / 基礎

旅券紛失に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ホテルのフロントだけで新旅券を発給できる。
2. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
3. 旅行会社が旅券を即時再発行できる。
4. 旅券紛失後も国際線に無条件で搭乗できる。

答え・解説

正答：2. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

解説：旅券紛失では「現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。」が基本です。

要点：旅券紛失

Q022

TRAVEL-1682

病気・けが対応 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、病気・けが対応で正しい理解はどれか。

1. 診断書や領収書は捨てる。
2. 受診せず旅行を続けることだけが正しい。
3. 保険会社には知らせない。
4. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

答え・解説

正答：4. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

解説：病気・けが対応では「医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。」が基本です。

要点：病気・けが対応

Q023

TRAVEL-1683

自然災害時対応 / 4択 / 標準

自然災害時対応に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 根拠のないSNS情報だけで行動する。
2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
3. 安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。
4. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

答え・解説

正答：1. 根拠のないSNS情報だけで行動する。

解説：誤りは「根拠のないSNS情報だけで行動する。」。自然災害時対応では「安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。」が基本です。

要点：自然災害時対応

Q024

TRAVEL-1684

トラブル記録 / 4択 / 応用

次の事例で、トラブル記録の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 相手方情報は確認不要である。
2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。
3. 記録は一切残さない方がよい。
4. 被害額は感覚で後から増やす。

答え・解説

正答：2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。

解説：トラブル記録では「日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。」が基本です。

要点：トラブル記録

Q025

TRAVEL-1685

海外旅行保険の目的 / 4択 / 基礎

海外旅行保険の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 航空券を必ず無料にするためである。
2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
3. 旅券の残存期間を延長するためである。
4. 入国審査を免除するためである。

答え・解説

正答：2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

解説：海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q026

TRAVEL-1686

治療・救援費用 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、治療・救援費用で正しい理解はどれか。

1. 旅券発給手数料である。
2. ホテルの朝食代だけを補償する。
3. 航空会社の運賃表である。
4. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

答え・解説

正答：4. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。
解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q027

TRAVEL-1687

携行品損害 / 4択 / 標準

携行品損害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
2. 旅行者の気分変化を補償する。
3. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
4. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。

答え・解説

正答：2. 旅行者の気分変化を補償する。
解説：誤りは「旅行者の気分変化を補償する。」。携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q028

TRAVEL-1688

賠償責任 / 4択 / 応用

次の事例で、賠償責任の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 旅券を再発給する補償である。
2. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。
3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
4. 航空機の遅延をなくす補償である。

答え・解説

正答：3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q029

TRAVEL-1689

航空機遅延 / 4択 / 基礎

航空機遅延に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
2. ホテル予約を必ず無料にする保険である。
3. 入国審査を省略する保険である。
4. 遅延を物理的に防止する保険である。

答え・解説

正答：1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
解説：航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q030

TRAVEL-1690

免責事項 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、免責事項で正しい理解はどれか。

1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
2. 免責事項は旅行者が自由に消せる。
3. 保険には免責事項が一切ない。
4. すべての損害が無条件で全額補償される。

答え・解説

正答：1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q031

TRAVEL-1691

事故時の連絡 / 4択 / 標準

事故時の連絡に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。
2. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
3. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
4. 事故時は何も記録しない。

答え・解説

正答：4. 事故時は何も記録しない。

解説：誤りは「事故時は何も記録しない。」。事故時の連絡では「保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。」が基本です。

要点：事故時の連絡

Q032

TRAVEL-1692

盗難時の証明 / 4択 / 応用

次の事例で、盗難時の証明の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 証明書類は一切不要である。
2. 友人の口頭証言だけで常に十分である。
3. 盗難時は航空会社に旅券を発給してもらう。
4. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

答え・解説

正答：4. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

解説：盗難時の証明では「盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。」が基本です。

要点：盗難時の証明

Q033

TRAVEL-1693

旅券紛失 / 4択 / 基礎

旅券紛失に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ホテルのフロントだけで新旅券を発給できる。
2. 旅券紛失後も国際線に無条件で搭乗できる。
3. 旅行会社が旅券を即時再発行できる。
4. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

解説：旅券紛失では「現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。」が基本です。

要点：旅券紛失

Q034

TRAVEL-1694

病気・けが対応 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、病気・けが対応で正しい理解はどれか。

1. 診断書や領収書は捨てる。
2. 保険会社には知らせない。
3. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
4. 受診せず旅行を続けることだけが正しい。

答え・解説

正答：3. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

解説：病気・けが対応では「医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。」が基本です。

要点：病気・けが対応

Q035

TRAVEL-1695

自然災害時対応 / 4択 / 標準

自然災害時対応に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。
2. 安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。
3. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
4. 根拠のないSNS情報だけで行動する。

答え・解説

正答：4. 根拠のないSNS情報だけで行動する。

解説：誤りは「根拠のないSNS情報だけで行動する。」。自然災害時対応では「安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。」が基本です。

要点：自然災害時対応

Q036

TRAVEL-1696

トラブル記録 / 4択 / 応用

次の事例で、トラブル記録の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。
2. 記録は一切残さない方がよい。
3. 被害額は感覚で後から増やす。
4. 相手方情報は確認不要である。

答え・解説

正答：1. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。

解説：トラブル記録では「日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。」が基本です。

要点：トラブル記録

Q037

TRAVEL-1697

海外旅行保険の目的 / 4択 / 基礎

海外旅行保険の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅券の残存期間を延長するためである。
2. 入国審査を免除するためである。
3. 航空券を必ず無料にするためである。
4. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

答え・解説

正答：4. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

解説：海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q038

TRAVEL-1698

治療・救援費用 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、治療・救援費用で正しい理解はどれか。

1. ホテルの朝食代だけを補償する。
2. 航空会社の運賃表である。
3. 旅券発給手数料である。
4. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

答え・解説

正答：4. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q039

TRAVEL-1699

携行品損害 / 4択 / 標準

携行品損害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
2. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。
3. 旅行者の気分変化を補償する。
4. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

答え・解説

正答：3. 旅行者の気分変化を補償する。

解説：誤りは「旅行者の気分変化を補償する。」。携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q040

TRAVEL-1700

賠償責任 / 4択 / 応用

次の事例で、賠償責任の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 航空機の遅延をなくす補償である。
2. 旅券を再発給する補償である。
3. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。
4. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

答え・解説

正答：4. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q041

TRAVEL-1701

航空機遅延 / 4択 / 基礎

航空機遅延に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 遅延を物理的に防止する保険である。
2. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
3. ホテル予約を必ず無料にする保険である。
4. 入国審査を省略する保険である。

答え・解説

正答：2. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

解説：航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q042

TRAVEL-1702

免責事項 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、免責事項で正しい理解はどれか。

1. 保険には免責事項が一切ない。
2. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
3. 免責事項は旅行者が自由に消せる。
4. すべての損害が無条件で全額補償される。

答え・解説

正答：2. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q043

TRAVEL-1703

事故時の連絡 / 4択 / 標準

事故時の連絡に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
2. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
3. 保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。
4. 事故時は何も記録しない。

答え・解説

正答：4. 事故時は何も記録しない。

解説：誤りは「事故時は何も記録しない。」。事故時の連絡では「保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。」が基本です。

要点：事故時の連絡

Q044

TRAVEL-1704

盗難時の証明 / 4択 / 応用

次の事例で、盗難時の証明の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 盗難時は航空会社に旅券を発給してもらう。
2. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。
3. 友人の口頭証言だけで常に十分である。
4. 証明書類は一切不要である。

答え・解説

正答：2. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

解説：盗難時の証明では「盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。」が基本です。

要点：盗難時の証明

Q045

TRAVEL-1705

旅券紛失 / 4択 / 基礎

旅券紛失に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ホテルのフロントだけで新旅券を発給できる。
2. 旅行会社が旅券を即時再発行できる。
3. 旅券紛失後も国際線に無条件で搭乗できる。
4. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

答え・解説

正答：4. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

解説：旅券紛失では「現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。」が基本です。

要点：旅券紛失

Q046

TRAVEL-1706

病気・けが対応 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、病気・けが対応で正しい理解はどれか。（確認2）

1. 診断書や領収書は捨てる。
2. 保険会社には知らせない。
3. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
4. 受診せず旅行を続けることだけが正しい。

答え・解説

正答：3. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

解説：病気・けが対応では「医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。」が基本です。

要点：病気・けが対応

Q047

TRAVEL-1707

自然災害時対応 / 4択 / 標準

自然災害時対応に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。（確認2）

1. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。
2. 根拠のないSNS情報だけで行動する。
3. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
4. 安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。

答え・解説

正答：2. 根拠のないSNS情報だけで行動する。

解説：誤りは「根拠のないSNS情報だけで行動する。」。自然災害時対応では「安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。」が基本です。

要点：自然災害時対応

Q048

TRAVEL-1708

トラブル記録 / 4択 / 応用

次の事例で、トラブル記録の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 記録は一切残さない方がよい。
2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。
3. 被害額は感覚で後から増やす。
4. 相手方情報は確認不要である。

答え・解説

正答：2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。

解説：トラブル記録では「日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。」が基本です。

要点：トラブル記録

Q049

TRAVEL-1709

海外旅行保険の目的 / 4択 / 基礎

海外旅行保険の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。（確認2）

1. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
2. 航空券を必ず無料にするためである。
3. 入国審査を免除するためである。
4. 旅券の残存期間を延長するためである。

答え・解説

正答：1. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

解説：海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q050

TRAVEL-1710

治療・救援費用 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、治療・救援費用で正しい理解はどれか。

1. ホテルの朝食代だけを補償する。
2. 航空会社の運賃表である。
3. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。
4. 旅券発給手数料である。

答え・解説

正答：3. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。

解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q051

TRAVEL-1711

携行品損害 / 4択 / 標準

携行品損害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 旅行者の気分変化を補償する。
2. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
3. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
4. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。

答え・解説

正答：1. 旅行者の気分変化を補償する。

解説：誤りは「旅行者の気分変化を補償する。」。携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q052

TRAVEL-1712

賠償責任 / 4択 / 応用

次の事例で、賠償責任の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。
2. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
3. 航空機の遅延をなくす補償である。
4. 旅券を再発給する補償である。

答え・解説

正答：2. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q053

TRAVEL-1713

航空機遅延 / 4択 / 基礎

航空機遅延に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
2. 入国審査を省略する保険である。
3. 遅延を物理的に防止する保険である。
4. ホテル予約を必ず無料にする保険である。

答え・解説

正答：1. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

解説：航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q054

TRAVEL-1714

免責事項 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、免責事項で正しい理解はどれか。（確認2）

1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
2. 免責事項は旅行者が自由に消せる。
3. 保険には免責事項が一切ない。
4. すべての損害が無条件で全額補償される。

答え・解説

正答：1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q055

TRAVEL-1715

事故時の連絡 / 4択 / 標準

事故時の連絡に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 事故時は何も記録しない。
2. 保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。
3. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
4. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

答え・解説

正答：1. 事故時は何も記録しない。

解説：誤りは「事故時は何も記録しない。」。事故時の連絡では「保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。」が基本です。

要点：事故時の連絡

Q056

TRAVEL-1716

盗難時の証明 / 4択 / 応用

次の事例で、盗難時の証明の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 盗難時は航空会社に旅券を発給してもらう。
2. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。
3. 友人の口頭証言だけで常に十分である。
4. 証明書類は一切不要である。

答え・解説

正答：2. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

解説：盗難時の証明では「盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。」が基本です。

要点：盗難時の証明

Q057

TRAVEL-1717

旅券紛失 / 4択 / 基礎

旅券紛失に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
2. ホテルのフロントだけで新旅券を発給できる。
3. 旅券紛失後も国際線に無条件で搭乗できる。
4. 旅行会社が旅券を即時再発行できる。

答え・解説

正答：1. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

解説：旅券紛失では「現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。」が基本です。

要点：旅券紛失

Q058

TRAVEL-1718

病気・けが対応 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、病気・けが対応で正しい理解はどれか。

1. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
2. 受診せず旅行を続けることだけが正しい。
3. 診断書や領収書は捨てる。
4. 保険会社には知らせない。

答え・解説

正答：1. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

解説：病気・けが対応では「医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。」が基本です。

要点：病気・けが対応

Q059

TRAVEL-1719

自然災害時対応 / 4択 / 標準

自然災害時対応に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。
2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
3. 根拠のないSNS情報だけで行動する。
4. 海外での治療費や救済者費用に備える重要な補償項目である。

答え・解説

正答：3. 根拠のないSNS情報だけで行動する。

解説：誤りは「根拠のないSNS情報だけで行動する。」。自然災害時対応では「安全確保、現地当局・航空会社・在外公館・旅行会社の情報確認を行う。」が基本です。

要点：自然災害時対応

Q060

TRAVEL-1720

トラブル記録 / 4択 / 応用

次の事例で、トラブル記録の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 記録は一切残さない方がよい。
2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。
3. 相手方情報は確認不要である。
4. 被害額は感覚で後から増やす。

答え・解説

正答：2. 日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。

解説：トラブル記録では「日時、場所、相手方、被害内容、連絡履歴を記録する。」が基本です。

要点：トラブル記録

Q061

TRAVEL-1721

海外旅行保険の目的 / 4択 / 基礎

海外旅行保険の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。
(確認2)

1. 旅券の残存期間を延長するためである。
2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
3. 入国審査を免除するためである。
4. 航空券を必ず無料にするためである。

答え・解説

正答：2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。

解説：海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q062

TRAVEL-1722

治療・救援費用 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、治療・救援費用で正しい理解はどれか。

1. ホテルの朝食代だけを補償する。
2. 旅券発給手数料である。
3. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。
4. 航空会社の運賃表である。

答え・解説

正答：3. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q063

TRAVEL-1723

携行品損害 / 4択 / 標準

携行品損害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
2. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。
3. 旅行者の気分変化を補償する。
4. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

答え・解説

正答：3. 旅行者の気分変化を補償する。

解説：誤りは「旅行者の気分変化を補償する。」。携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q064

TRAVEL-1724

賠償責任 / 4択 / 応用

次の事例で、賠償責任の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 航空機の遅延をなくす補償である。
2. 旅券を再発給する補償である。
3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
4. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。

答え・解説

正答：3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q065

TRAVEL-1725

航空機遅延 / 4択 / 基礎

航空機遅延に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 入国審査を省略する保険である。
2. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。
3. 遅延を物理的に防止する保険である。
4. ホテル予約を必ず無料にする保険である。

答え・解説

正答：2. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

解説：航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q066

TRAVEL-1726

免責事項 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、免責事項で正しい理解はどれか。

1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
2. すべての損害が無条件で全額補償される。
3. 免責事項は旅行者が自由に消せる。
4. 保険には免責事項が一切ない。

答え・解説

正答：1. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q067

TRAVEL-1727

事故時の連絡 / 4択 / 標準

事故時の連絡に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
2. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
3. 事故時は何も記録しない。
4. 保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。

答え・解説

正答：3. 事故時は何も記録しない。

解説：誤りは「事故時は何も記録しない。」。事故時の連絡では「保険会社のアシスタンスセンターや現地警察・医療機関へ速やかに連絡する。」が基本です。

要点：事故時の連絡

Q068

TRAVEL-1728

盗難時の証明 / 4択 / 応用

次の事例で、盗難時の証明の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 盗難時は航空会社に旅券を発給してもらう。
2. 証明書類は一切不要である。
3. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。
4. 友人の口頭証言だけで常に十分である。

答え・解説

正答：3. 盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。

解説：盗難時の証明では「盗難では現地警察の届出証明など、保険請求に必要な書類を確認する。」が基本です。

要点：盗難時の証明

Q069

TRAVEL-1729

旅券紛失 / 4択 / 基礎

旅券紛失に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅行会社が旅券を即時再発行できる。
2. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。
3. 旅券紛失後も国際線に無条件で搭乗できる。
4. ホテルのフロントだけで新旅券を発給できる。

答え・解説

正答：2. 現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。

解説：旅券紛失では「現地警察や日本大使館・総領事館への相談、帰国書類等の手続を確認する。」が基本です。

要点：旅券紛失

Q070

TRAVEL-1730

病気・けが対応 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者試験の学習上、病気・けが対応で正しい理解はどれか。

1. 受診せず旅行を続けることだけが正しい。
2. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。
3. 診断書や領収書は捨てる。
4. 保険会社には知らせない。

答え・解説

正答：2. 医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。

解説：病気・けが対応では「医療機関受診、保険会社連絡、診断書・領収書の取得が重要である。」が基本です。

要点：病気・けが対応